

JLT100 日本語学概論

2年 1,2クォーター

担当教員 佐藤 綾

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 一部導入

単位数 2

曜日・時限 木曜日・3時限

授業概要

日本語の学習と教育に必要な日本語学の基礎的知識を学ぶ。日本語について、日本語学習者の日本語使用を参考にしながら、言語の普遍性と個別性を押さえつつ、日本語の特徴について考察する。この講義では、音声・音韻論、文字・表記、意味論、語用論、日本語文法、談話、社会言語学に関わる必要な言語理論の基礎について概説する。

到達目標

- 1) 日本語を客観的に分析するための基礎的な知識を身につける。
- 2) 日本語学習者の日本語使用の観察を通して、日本語の特徴を把握する。
- 3) 日本語の構造や使い方について、日本語教育学的な視点から説明できる。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

- 1) 庵功雄・日高水穂・前田直子・山田敏弘・大和シゲミ『やさしい日本語のしくみ』くろしお出版
- 2) 日野資成『ベーシック現代の日本語学』ひつじ書房
- 3) 姫野伴子・小森和子・柳澤絵美『日本語教育学入門』研究社
- 4) 山田敏弘『日本語のしくみ 新版』白水社

授業の方法

講義形式で進めるが、随時、グループ・ディスカッションやグループ・ワークを取り入れる。

成績評価

- 1) 小テスト
毎回、前の回の講義の内容、及び予習した内容に対する理解を測る小テストを行う。
- 2) ミニットペーパー
毎回、講義の終わりに、講義で学んだこと等に関する意見文を書く。
- 3) 課題
この講義の間に、3回程度、講義で学んだ内容に対する理解を確認するための課題を提出する。

成績

小テスト：30% ミニットペーパー：30% 課題：40%

授業スケジュール

第1回：日本語学とは何か

第2回：日本語の音声・音韻

第3回：日本語の表記

第4回：日本語の語彙①

第5回：日本語の語彙②

第6回：意味論①

第7回：意味論②

第8回：語用論①

第9回：語用論②

第10回：日本語文法①

第11回：日本語文法②

第12回：日本語文法③

第13回：日本語文法④

第14回：日本語の談話

第15回：社会言語学

事前・事後学習

事前学習：講義の前に、指定された教科書や資料の必要部分を読んでおくこと。事前学習については、講義の初めに小テストの形で確認をする。

事後学習：講義終了後は、講義で扱った部分のテキストや資料を読み直しておくこと。事後学習については、事前学習と合わせて、次の講義の際に小テストの形で確認をする。